

【テーマ】患者の意向を尊重するための研修会

1. 日時 令和5年3月19日（日） 午後1時30分から4時30分まで
2. 場所 日進市中央福祉センター 2階 多機能室（日進市蟹甲町中島 22 番地）
3. 主催 東名古屋医師会医療介護総合研究センター
4. 助成 勇美記念財団
5. 対象 地域の医療介護関係者（参加者 26 名）
6. テーマ 本人の意向を尊重して想いを聴こう！
7. 講義 「患者の意向を尊重するためには」 13:30～14:30
講師 愛知県がんセンター 緩和ケア部 部長 下山 理史 医師
8. グループワーク、ロールプレイ：
「本人の意向を尊重して想いを聴こう！」 14:30～15:30
講師：アガベクリニック 理事長 伊藤 志門 医師
9. 事例検討、講評 15:30～16:30



講義（下山理史先生）



グループワーク



グループ発表



■タイムテーブル

タイム テーブル	時間	プログラム	内容
13:30 ～ 14:30	60 分	講義	「患者の意向を尊重するためには」（仮題） 講師：下山 理史 先生
14:30 ～ 14:35	5 分	「意思決定支援について」 導入編	司会・進行：アガベクリニック 伊藤 志門 先生 本日の研修会について 目的：「本人の意向を尊重して想いを聴こう」 個人ワーク、ロールプレイ、グループワークを行います。
14:35 ～ 14:42	7 分	個人ワーク	事例を読み、退院後の生活について（本人のこれからのこと）、かかりつけ医として、患者のヤマダ タロウさんと話をします。どんな言葉で話し始め、声掛けをするか、書き出してみてください。
14:42 ～ 14:49	7 分	ロールプレイ ①	【場面】 腰椎圧迫骨折受傷し、1 か月程入院していた。今日は退院後、初めてかかりつけ医である A クリニックへ受診です。かかりつけ医は、「退院後の生活について（本人のこれからのこと）」本人の意向を尊重して想いを聴こうと考えています。 【目標】 本人との対話の中でどうやって本人の意思決定を引き出すか。 役になりきって始めてください。 ① 本人（85 歳） ②かかりつけ医 ③観察者（2 名）
14:49 ～ 14:57	8 分	フィードバック	・どのような点がよかったか。 ・どんな話し方が有効だったか。 ・改善した方がよいところはどこか
14:57 ～ 15:07	10 分	発表	かかりつけ医役の方が発表してください ・どのような点がよかったか ・どんな話し方が有効だったか ・改善した方がよいところはどこか
15:07 ～ 15:09	2 分	ロールプレイ ② 場面説明	A クリニックのかかりつけ医と「これからのこと」について、話をしてから 3 か月ほど経過しました。 デイケアへ通い杖歩行も安定していたが、デイケアで人間関係のトラブルがあり、「もうこんなところへは来ない！」と怒り、現在利用を休んでいます。

			酒量も増え、怒りっぽくなり、自宅ソファでゴロゴロと過ごす日々が増えています。妻もそんな本人に対して嫌気がさしており、かかりつけ医のAクリニックの定期受診時にかかりつけ医へ相談します。
15:09 ~ 15:14	5 分	個人ワーク	医療・ケアに関わる専門職として、患者のヤマダ タロウさんと「今後のこと、もしものとき」について話そうと考えます。どんな言葉で話し始め、声掛けをするか、書き出してみてください。
15:14 ~ 15:21	7 分	ロールプレイ ②	【目標】 ・療養や生活での不安・疑問を尋ねる。 ・療養や生活で大切にしたいことを尋ねる。 (してほしいこと、してほしくないこと、いのちに対する考え方を探索する) ・本人の意向を尊重する。 役になりきってください。 ①本人 (85 歳) ②妻 (キーパーソン) ③ かかりつけ医 ④観察者
15:21 ~ 15:29	8 分	フィードバック	・どのような点がよかったか。 ・どんな話し方が有効だったか。 ・改善した方がよいところはどこか
15:29 ~ 15:39	10 分	発表	かかりつけ医役の人が発表してください ・どのような点がよかったか ・どんな話し方が有効だったか ・改善した方がよいところはどこか
15:39 ~ 16:09	30 分	事例検討 (グループワーク)	【目的】本人の意向を尊重して想いを聴きだすこと 【グループワーク】 ①本人の意向を尊重して想いを聴きだすために、私たち専門職に必要な姿勢とは何かを考えてください。(being) ②本人の想いを聴きだし、そして本人が意思決定していくためには、どのような工夫が必要でしょうか？(doing)
16:09 ~ 16:19	10 分	グループ発表	各グループ 2 分で発表
16:19 ~ 16:30	11 分	講評	下山 理史 先生、伊藤 志門 先生

資料 1

＜一般的なルールとは＞ E-FIELD「アドバンス・ケア・プランニングの実践を学ぶ」から抜粋

- 礼儀正しく、丁寧に
- 患者・家族の防衛機制に応じて侵襲的でない（わかりやすく、心理的ストレスを与えない）コミュニケーションを
- 表情、動作に留意し空気を読む
- つらそうな反応や言動があったらそこで止める
- もしよろしければ～について伺いたいのですが
- もしも・・・万が一・・・
- 相手の感情に留意（表情、視線、しぐさ）
- 感情に気づいたら、感情への対応を優先する
（これをおろそかにすると、質の高いコミュニケーションは難しい、時には時間の浪費になってしまうことさえある）
- 最善を期待し、最悪に備える（Hope for the best, Prepare for the worst）
 - ・ まず患者・家族の希望や大切にしていることを尋ね、探索し、共感し、理解する
 - ・ そのうえで、今後の病状の変化に備えて、もしもの時についての話を切り出す
- 「もしもの時」について話す心構えができているか、レディネス（準備状態）を確認する
（経験を尋ねてその内容を探索する）

＜病状の認識を確かめる＞ E-FIELD「アドバンス・ケア・プランニングの実践を学ぶ」から抜粋

- 病状について、どのように説明を受けていらっしゃいますか？
- 今後の治療について、どのように説明を受けていらっしゃいますか？
- ○○さんの病状についてはカルテを読ませていただいたので、大体のことは承知しているのですが、今後のことをご相談するために○○さんが病状をどうとらえていらっしゃるのかを伺いたいと考えます。

＜話し合いを導入する＞ E-FIELD「アドバンス・ケア・プランニングの実践を学ぶ」から抜粋

- 「もしもの時」について話す心構えができているか、レディネス（準備状態）を確認する。
- 万が一の時のことを考えてお聞きするのですが、
前回と同じような状況になったときのこと
病状のために身の回りのことをすることができない状態になったときのことを

お考えになったことがありますか？

もしよろしければ、詳しく教えてください。

➤ もしもの時のことについて、これから相談をしていきたいと思うのですが、よろしいでしょうか？

➤ お身内やご友人の方で（テレビなどで）重い病で危篤になられた方をご覧になった経験はありますか？

そのときにどんなことをお感じになりましたか？それはなぜですか？詳しく教えてください。

➤ ご自分が同じような状態になられ、どうしようとお考えになったことはありますか？

＜代理決定者を選定する＞ E-FIELD「アドバンス・ケア・プランニングの実践を学ぶ」から抜粋

■所感

テーマ「患者の意向を尊重するための研修会」

本研修会についても、当初予定していた開催日がコロナ禍のピークと重なり、2度延期しての開催となった。

当医師会が主催して、管内3市1町及び隣接する地域から、クリニック医師、訪問看護師、ケアマネジャーなどの職種の方20名に参加していただいた。

厚生労働省が推進している、E-FIELD「アドバンス・ケア・プランニングの実践を学ぶ」の趣旨に則り、午後1時30分から4時30分まで、講義、ロールプレイ、グループワーク、事例検討等のプログラムを実施した。

グループワークの編成（5チーム）には、各チームに、E-FIELD 研修修了者を配置し、グループ内での対話と講師、ファシリテーターとの双方向で意見交換・情報共有する形式で実施した。

コロナ禍では、多くの研修会がオンラインで開催されていましたが、今回は対面で開催したことから、積極的な意見交換の場となった。

研修会講評時に、今後の開催希望について意思確認したところ、多くの参加者から定期開催の要望をいただき、本研修会実施による効果を実感することができた。

※ 本研修会は、「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団」の助成により実施いたしました。